

平成 24 年 6 月 19 日

学校法人 幸福の科学学園  
副理事長 [ ] 様

仰木の里学区自治連合会  
会長 [ ]

拝啓 梅雨の候、貴校ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先日 6 月 2 日に [ ] 理事長様はじめ幹部の皆様方とご面談させていただきました。ありがとうございます。

その際、開校に向けていくつかの要請を受け賜りましたが、その席上で自治連会長としてコメントをさせていただきました。

先般、平成 24 年 6 月 12 日付け要請文書を受け取りましたが、この要請文書には私が面談で申し上げた「学校法人として説明会を何度もするなど、地域住民に理解を得ることが必要。また、危険な地盤についても安全性を証明していただくことが必要」などの内容が全く触れられておりませんことをお伝えいたします。

先の 6 月 16 日の 17 自治会代表による自治連合会定例役員会の席上でこの要請文書を全 17 自治会代表者に配付し説明させていただきました。また、同時に貴学園に関する自治連専門部会より決議文が提案され、多くの自治会から賛同され承認されましたことをお伝えいたします。(別紙 決議文参照)

当自治連合会といたしましては、

- 1、 学校法人という組織の公共性から、学園建設に関し、十分に議論し、住民に理解され、住民との連携が達成されること。
- 2、 防災という観点から、地盤について、専門家による検証が充分なされ、地域住民、及び学園関係者の安全性の確保がなされること。

この 2 点について、要請いたします。

地元自治連合会としては当然地域連携が必要と考えています。お互いに一方的な主張をするのではなく協議したうえで進めていかねばならないと考えておりますので、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。 敬具